9月の園だよりでピーステーブルのことを少しだけ紹介しました。先日、使っている子たちがいたので、ちょっとそのお話しを。

AくんとBちゃんが座っていました。初めは先生も一緒にいたのですが、他の用事ができ、二人に託してちよつとその場を離れました。そこに私が近づいて、どうした？と声を掛けます。「外にハトがいて、Aくんはツバを掛けた。Bくんは水を掛けた」とのこと。もちろん相手は野生のハトなので、距離もあり、掛かることはないでしょう。二人の真剣な顔、そして「やってしまった」という落ち込み具合に、内心可笑しく思ってしまったが、グッと堪えます。ピーステーブルはトラブルを話し合いで解決する場所です。ということ、そこにハトさんがいないと成立しません。二人は園庭に出てハトに謝ることにしようです。でもいけません。その日は謝ることができずに終わりました。次の日の朝、テラスに出てみると、いつもより多くのハトさんが大集合していました。どのハトに謝るべきか探しているうちに、みんな飛び立ちました。「いっちゃったね。」そして次の日、私のところに二人で手を繋いで晴れやかな顔でやってきました。「ハトにあやまったよ！」

本来の趣旨とは少し違う活用でしたが、なんとも子どもらしくて、フツと可笑しくなってしまう出来事でした。子どもたちは大人が思っている以上に色んなことを分かっています。考えていて、感じています。だからこそ、ちよつと気づいてもらう言葉を投げかけるだけで、自分たちで考えることができたりもします。子どもの見ている世界を覗いてみることで面白い発見もありますよ。

園長 梶原 秀一

今月の予定

筑波登山遠足<年長児> 10/10 (金)

毎年恒例の筑波登山に、今年度もぞうグループが挑戦します！一步一步登って頂上を目指してきます！※他の学年の皆さんは通常通りの登園となります。

おべんとうデー 10/15 (水)

毎月のご協力本当にありがとうございます。フタを開けるときの、なんとも言えない嬉しそうな顔はこの日ならではの。一人一人が自分の大切な宝物かのように、お弁当を大切にしていますよ。

カレーライスの日 10/17 (金)

野外調理で使う薪は用務員の富田さんが準備してくださっています。そのお陰で毎月美味しいカレーができています！富田さんもみんなが作るカレーが大好きで、「これがうまいんだよ」と食べるのを楽しみにしています。

交通安全教室 10/21 (火)

今回は「安全な歩き方」をテーマに教えてください。道路や駐車場の歩き方を、ご家庭でもお子さんと確認してみてくださいね。

誕生会 10/23 (木) 10:00~

10月生まれのお友だちの誕生会です！年長児が誕生月の子をステージの席まで入場の手伝いをするエスコートキッズ、はじめ・おわりの言葉をしていています。今月もみんなでお祝いしましょう！

検診・検査の予定

内科検診 11月4日 14:00~
歯科検診 12月4日 14:00~
尿検査 12月3日 回収日

以上の日程で予定しております。詳細は後日お知らせいたします。

☆お知らせ・★お願い

☆ラジオ出演について

LuckyFMの「JAさわやかモーニング えがお集まれ」というラジオの取材依頼を受け、9月末に収録をおこないました。ぞうグループの歌やインタビューなどがある予定です。初めての経験でどうなっているかは分かりませんが、きっと良い感じに編集してくださっていることでしょう…。放送日10月6日(月)、20日(月)9時35分~45分の予定なので、皆さんもよろしければお聞きください。radikoでも聞けるようです。

★延長保育開始時間について

標準保育利用家庭は18時、短時間保育利用家庭は16時30分からが延長保育扱いとなっております。少し見づらいかもかもしれませんが、玄関ホールと延長保育のクラスが電波時計となっておりますので、その時計で判断させていただくこととしていきますので、ご承知おきください。

☆わくわくフェスティバル(運動会)について

11月1日(土)9:00~12:00予定
牛久運動公園 メインアリーナにて

☆令和8年度新入学児童健康診断

10月から随時始まりますので、年長児のご家庭は市からの通知をご確認ください。

「根拠なき自信」プラス思考

県の監査があった。本当にしつこく、細かい監査だった。本園は真冬でもお部屋は開けっぱなしである。それなのに、換気の検査がどうのと・・・ウンザリしている。窓のガラス越しに子ども達が私を外に出てくるのをじっと見つめて待っていた。目が合うと、時折、「マダー」「遊ぼうよ」と呼び掛ける。私が、「まだ、あっちに行つて」と言う。・・・を繰り返した。すると、監査人も困った様子で「理事長先生、園長先生がいれば結構ですよ。」と私を開放してくれた。子ども達が私を囲んで「あの人達、早く帰ればよかったのに」「遊ぼう！」と喜んでくれた。子ども達の声は監査人にも届いていたと思う。監査人が帰った午後、R子園長に、「細かくてしつこかったな」というと、R子園長は「細かく見てもらえて、かえって書類が整理できて良かったです。」と答えた。うんざりする私とは反対に、プラスにとらえていた。反省しきり。▼昨年の筑波登山の日、筑波山に近づくにつれ、山頂付近には厚い雲がかかっているのがはっきり見え始めた。普通、大人は「残念、今日はついてない」とガッカリする。実際に、筑波から帰ったその日「こんな日によく行ったわね。私だったら絶対行かない。」と言われた。しかし、子ども達は、雲がかかった山頂を見上げて「やったー。雲がかかっている。早く登って雲を食べよう。」「ビニール袋に詰めておみやげにしよう」と意気あい込んだ。頂上付近に近づくと濃霧の中にたずみ、「アレ、雲がない。どうしたんだろう」と雲を探した。「遠くから見ると雲なんだが、この雨のような濃い霧が雲なんだよ。」「へー、この霧のモヤモ

ヤが雲なんだ。お腹の中に思い切り吸い込んじゃおう。」と大きく深呼吸した。「雲の中にいるなんて、こんな経験なかなかできないよ。」と思った。お弁当を食べ終える頃に濃霧が小雨になった。「ほら雲が厚くなると雨になるんだ。」とまた経験。急いでお弁当を食べ、ケールカーで神社まで降り、お参りをしていてと晴間が見えたので、仁王門のところでシートを広げ、残っていたお弁当・おやつを再開。「二回もお弁当、おやつが食べられるなんてラッキー」と喜んでた。ふたばっ子はみんなプラス思考。▼プラス思考の方が物事を前向きに楽天的、積極的にとらえられるようになる。人生を豊かにする。プラス思考は幼児期に「根拠なき自信」をつけることでできる。3才児は誰もが自分が一番早いと思っている。競争してゴールすると、遅れた子どもみんな指を立て「一番！一番」と叫ぶ。これがいいのだ。私は遅れてゴールして「みんな早いね！」と言うと、何度も繰り返し走らされ疲れるが、子どもはどんどんフォームもしつかりして本当に早くなる。そこから「自尊心」「自己肯定感」が育つ。「僕はできないと意欲はわかないし、チャレンジ精神はできない。競わせて、早くから現実を突きつけ負のイメージを植え込んでしまつと、どうせやつたつてダメ・・・どうせ僕はダメなんだと思うことになる。君はデキル、やればなんとかなるを繰り返すと、失敗したつて、いつかは必ずできるようになる」と前向きに物事をとらえるようになり、積極的にになり、プラス思考を持つことになる。まずは、「根拠なき自信」を育てよう。

(九月の続きは十一月にします)

理事長 浅田 精利